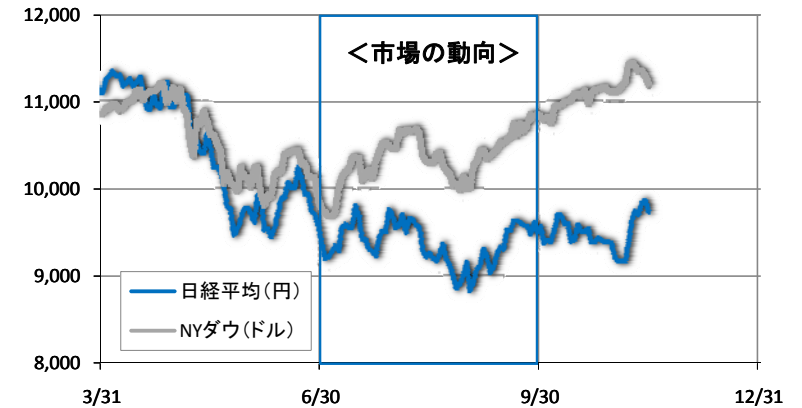


年金積立金管理運用独立行政法人の運用結果(平成22年度第2四半期まで)

○ 第2四半期(7月から9月まで)の運用状況は、海外の株式市場が上昇したことにより、**プラス1.5%**(約1.8兆円)。
上半期(4月から9月まで)では**マイナス1.5%**(約▲1.8兆円)となった。

(参考) 年金積立金全体では、13年度(自主運用開始)からの**累積で約2.1兆円のプラス**。



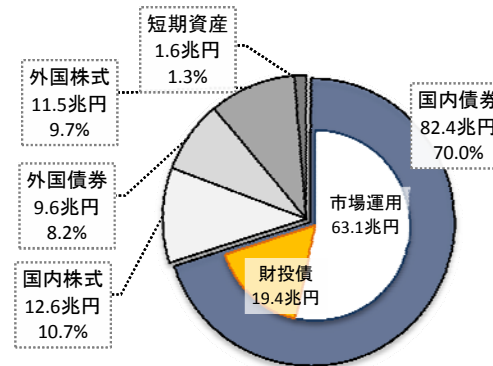
○ 資産別収益額(収益率)及び運用資産額

	第2四半期(7-9月)		上半期(4-9月)	
	収益額	収益率	収益額	収益率
国内債券	7,566	-	22,434	-
市場運用分	6,889	1.1%	21,071	3.4%
財投債	677	0.3%	1,363	0.7%
国内株式	▲ 804	-0.6%	▲ 21,352	-14.5%
外国債券	2,148	2.3%	▲ 5,468	-5.4%
外国株式	8,813	8.3%	▲ 13,792	-10.6%
運用資産全体	17,725	1.5%	▲ 18,173	-1.5%

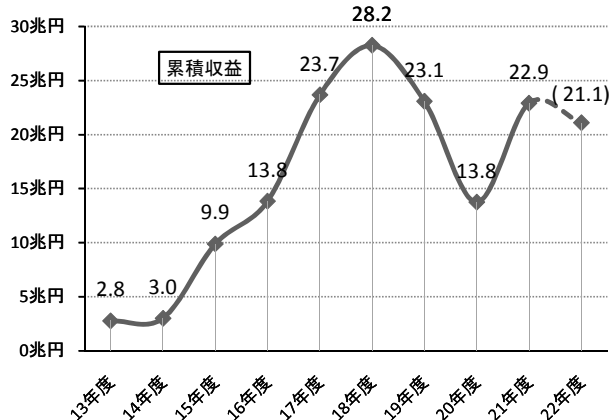
※ 運用資産全体の合計には、短期資産の収益額及び資産額を含む。

○ 資産構成割合(22年9月末)

運用資産額	構成割合	
	金額	割合
82.4	70.0%	
62.9	53.5%	
19.4	16.5%	
12.6	10.7%	
9.6	8.2%	
11.5	9.7%	
117.6	100.0%	



(参考) 積立金全体の運用実績(自主運用開始から)



年度	管理運用法人		積立金全体の収益額		
	管理運用法人(兆円)	収益率	預託金(兆円)	収益額(兆円)	収益率
13年度	▲1.3	▲1.8%	4.1	2.8	1.9%
14年度	▲3.1	▲5.4%	3.3	0.2	0.2%
15年度	4.4	8.4%	2.4	6.9	4.9%
16年度	2.2	3.4%	1.7	4.0	2.7%
17年度	8.7	9.9%	1.2	9.8	6.8%
18年度	3.8	3.7%	0.8	4.6	3.1%
19年度	▲5.6	▲4.6%	0.5	▲5.2	▲3.5%
20年度	▲9.4	▲7.6%	0.1	▲9.3	▲6.9%
21年度	9.2	7.9%	0.0	9.2	7.5%
22年度	(▲1.8)	(▲1.5%)		(▲1.8)	-
合計	(7.0)	-	(14.1)	(21.1)	-
	(5.3)				

※1 管理運用法人の収益率は、運用手数料等控除前の収益率。

※2 【 】内は、平成12年度以前の旧年金福祉事業団の損益等を含めた累積損益。

(年金積立金の管理・運用の基本的な考え方)

年金積立金は、国民の老後の年金給付に充てるためのものであることから、その運用は、安全を第一に、比較的 안전한資産とされる国内債券を中心としつつ、株式等に分散投資を行っています。

しかしながら、市場で運用する限りは、一時的に損失が出ることもありますが、損失が出たからと慌てたり、収益が出たからと楽観視するのではなく、長期的な観点に立って運用を行うことが重要です。

市場の動向(平成22年度第2四半期まで)

《運用資産全体(市場運用分+財投債)》

	平成21年度	平成22年度				通期
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
収益率(%)	7.91	-2.94	1.53			-1.50
収益額(億円)	91,850	-35,898	17,725			-18,173
運用資産額(億円)	1,228,425	1,168,027	1,176,436			1,176,436

※ 収益額は、運用手数料及び借入利息等控除前のもの。

○ 参考指標 (()内は、22年3月末からの騰落率。)

	平成22年3月末	平成22年6月末	平成22年9月末
日経平均 (円)	11,089.9	9,382.6 (-15.4%)	9,369.4 (-15.5%)
TOPIX(配当なし) (ポイント)	978.8	841.4 (-14.0%)	829.5 (-15.3%)
NYダウ (ドル)	10,856.6	9,774.0 (-10.0%)	10,788.1 (-0.6%)
DAX(ドイツ) (ポイント)	6,153.6	5,965.5 (-3.1%)	6,229.0 (1.2%)
為替(ドル/円) (円)	93.4	88.5 (-5.3%)	83.5 (-10.6%)
為替(ユーロ/円) (円)	126.4	108.4 (-14.3%)	114.1 (-9.8%)

平成22年10月末
9,202.5 (-17.0%)
810.9 (-17.2%)
11,118.5 (2.4%)
6,601.4 (7.3%)
80.6 (-13.8%)
112.0 (-11.4%)

○ 海外の年金基金に比べて安全重視の運用 (「国内債券を中心とした分散投資」)

(参考) 海外の年金基金の運用状況

	22年度 (4-9月)	(21年度)	(20年度)
・ CalPERS <株式 約5割> (米)カリフォルニア州職員退職年金基金)	3.0%	(25.2%)	(▲29.1%)
・ CPPIB(カナダ) <株式 約6割>	5.2%	(14.9%)	(▲18.6%)
・ GPF-G(ノルウェー) <株式 約6割> (全て海外資産)	2.2%	(25.5%)	(▲9.5%)
・ AP1~4(スウェーデン) <株式 約6割>	(1.5%)	(19.7%)	(▲21.6%)
※ 各基金の資産残高で加重平均	(1-6月)	(1-12月)	(1-12月)
・ 管理運用法人 <株式 約2割>	▲1.5%	(7.9%)	(▲7.6%)

